

○新型コロナウイルス感染症(COVID-19)ニュース 第19号 2020.4.20○

新型コロナウイルス感染症患者さんが毎日報告されています。「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)ニュース」では、特に医師会員の皆様にも有用と思われる情報を、混乱を避けるために決まったことを中心に掲載させていただいております。しかし、全国に緊急事態宣言が出されて新型コロナウイルス感染症軽症患者さんの施設への収容、PCR検査センターの設置など気になる報道も多く、今号ではこうした現状についても触れてみました。

また、医院経営にかかわる国の対策についてもわかる範囲で情報提供もさせていただきます。

現状報告 PCR検査の拡大協力について(2020.4.20)

現在、県と東北大学が中心になって、東北大学の臨時診療所とした位置づけで、ドライブスルー方式のPCR検査場が準備されております。ただ、すぐにすべての医療機関からの検査を受けるのは困難で、当初の検査対象はこれまで通り帰国者・接触者外来からの紹介患者さんとし、今後少しずつ増やして、1日100例程度の検査を目指すとのことです。

医師、看護師は基本的に東北大学病院から派遣されるとのことで、事務は県職員があたるようです。仙台市医師会は県医師会から要請のCOVID-19 JMATとして参加する予定ですが、まだ具体的なスケジュールなど示されておらず、準備の段階です。

現状報告 新型コロナウイルス感染症軽症患者さんの隔離協力について(2020.4.20)

県で準備された軽症者収容施設は、すでに収容が始まっていて17日の時点で3名入っているとのことでした。医師は24時間常駐で、現在は東北大学病院の医師の希望者が勤務されているとのことです。仙台市医師会は当初オンコール対応を打診されましたが、県でも詳細が決まっておらず直接の協力は見合わせとなり、こちらも今後はCOVID-19 JMATとして対応することになりそうです。詳細は未定です。また、東北大学で医師の確保のため仙台市急患センターの勤務に欠員が生じる事態になった場合、代わりに急患センター勤務の協力が求められる可能性もあるとのことです。

新規 仙台市新型コロナウイルス感染症対策会議について(2020.4.17)

4月17日15時から仙台市新型コロナウイルス感染症対策会議が開催され、永井会長が出席しました。会長からは「**開業医が、いつ目の前に新型コロナウイルスの患者さんが現れるかも知れないという、緊張感と不安の中で診療に当たっている**」こと、「**サージカルマスクや消毒用エタノールが不足している**」こと、「**病院は院内感染に細心の注意を払って診療しているが、それでも院内感染が起こりうる**」こと。「**院内感染が起こることが医療崩壊に繋がる**」こと、「**新型コロナウイルス感染の患者さんを診ている病院でも防護用ガウンやフェイスシールドが不足している**」ことなど現状を訴えて、「**仙台市でも対応して頂きたい**」ということを伝えました。

新規 手指消毒用エタノールの有償供給について(2020.4.20)

県医師会を通して各医療機関へ代金引換で手指消毒用のエタノール供給が開始となりました。

3月以降、厚労省と県医師会とのやり取りで、「供給の確約されない無償の高濃度エタノール(希釈して消毒用として使用)」と「供給の得られる有償消毒用エタノール」の連絡がありました。同時に両方の供給は受けることはできないとのこと、無償は一回のみに対して有償は定期的に購入できる予定であることから、県医師会の判断でこの度の“有償”供給となりました。

「なぜ無償もあるのに、今回は有償で割高なのか?」「受け取らなくてはならないのか?」などのご質問があるかと思いますが、上記内容と、非常時の物流のために割高になることもご理解いただきたく思います。また、配送時の受け取り拒否は可能ですが、今後の優先供給には参加できなくなるとおられます。万が一、詐欺などと思って断ってしまったが、事情が分かれば供給を受けたかった場合などには県医師会にご相談をお願いいたします。

更新 マスクの供給について(2020.4.13)

国および日本医師会から、宮城県医師会を通してマスクが届きました。はがきでもお知らせしたとおり、仙台市医師会において **4月22日(水)まで**配布を行っております。必要な場合はお知らせ**はがきをご持参**のうえ、医師会へお越しいただきたくお願いいたします。

新規 事業に関する補助、給付金などについて(2020.4.13 時点)

新型コロナウイルス感染症の拡がり、かかりつけ医療機関を受診する患者さんにも変化が見られます。受診を控えられたり、長期処方、電話再診が増えることで、事業にも影響が出ているという声が聞かれます。

医療機関への対策として、新型コロナウイルス感染症治療に関する診療報酬の増点数が報道されておりますが、かかりつけ医療機関の事業への対策は、特に今のところ発表されておられません。

経済産業省のHPに「**新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ**」として、個人事業主、中小企業(法人)に対して、現在受けられる補助、給付などの情報が更新されつつ掲載されております。

→<https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/pamphlet.pdf>

15、20 ページの**特別利子補給制度(融資、債務の無利子化)**、28 ページの**持続化給付金(資金の給付)**などが関係するかと思われます。それぞれの事業形態や影響の程度によって条件など異なりますので、簡約掲載が困難です。HP、原文をご確認いただき、専門家へのご相談をご検討ください。

重要 新型コロナウイルス感染症対応フロー(2020.3.12)

前記のような対策はとられておりますが、現在でも現場での対応フローに変更はありません。下記対策フローをご確認いただき、新型コロナウイルス感染症が疑われた場合、患者さんからは**相談窓口(コールセンター)**へ、医療機関からは**保健福祉センター管理課(帰国者・接触者相談センター)**への電話相談をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対応フロー

仙台市医師会 (2020.3.12 版)

新型コロナウイルス感染症の「疑い例」の定義

- 発熱 (37.5℃以上)
- 呼吸器症状を有している
- 発症から2週間以内に、**新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域***への渡航歴があるか、「**新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域への渡航歴がある人**」との濃厚接触歴がある。

*1 新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域は厚生労働省のホームページからご確認ください。

【自治体・医療機関・社会福祉施設等向け
の情報一覧(新型コロナウイルス感染症)】



会員医療機関

疑い例に該当するもの
疑い例と思われるもの*2

コールセンター (一般電話相談)

疑い例に該当するもの

連絡

連絡

区役所保健福祉センター管理課 (帰国者・接触者相談センター)

感染症指定医療機関

*2 定義完全一致以外の例

- ・ 発熱・呼吸器症状があり新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域以外の流行地への渡航歴あり
- ・ 呼吸器症状・新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域への渡航歴はあるが発熱がない
- ・ 発熱・新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域への渡航歴はあるが呼吸器症状がない
- ・ どうしても新型コロナウイルス感染症が疑われる例もっとも重要な要素は流行地への渡航歴です。渡航例は「渡航歴のある人との濃厚接触歴」を加えてと読み替えてください。

【保健福祉センター管理課 (帰国者・接触者相談センター) 連絡先】

青葉区役所	(代表) 2 2 5 - 7 2 1 1	(保健福祉センター管理課)
宮城野区役所	(代表) 2 9 1 - 2 1 1 1	(保健福祉センター管理課)
若林区役所	(代表) 2 8 2 - 1 1 1 1	(保健福祉センター管理課)
太白区役所	(代表) 2 4 7 - 1 1 1 1	(保健福祉センター管理課)
泉区役所	(代表) 3 7 2 - 3 1 1 1	(保健福祉センター管理課)

※ 時間外は守衛室につながりますが、疑い患者の相談である旨お話しいただければ、管理課担当が対応いたします。

再掲 医師会に関する集会、会合について

感染の拡大防止のために各種の集会、講演会、会合が中止あるいは延期されております。医師会の主催、関係する集会、会議の現段階での開催、中止等の予定をお知らせいたします。なお、現在開催予定となっている会合等も、今後の状況によっては中止になることも考えられます。正式決定するまでは例年通り案内等は発送されることがありますのでご理解ください。

開催中止	5月13日(水)	19:00~	マンモグラフィ読影研修会
	5月16日(土)	19:00~	マンモグラフィ読影研修会
	5月20日(水)	19:00~	学術部勉強会
	5月21日(木)	13:30~	市民医学講座(講演は中止、ケーブルテレビ放映あり)
	5月21日(木)	19:00~	マンモグラフィ読影研修会

更新 国内新型コロナウイルス感染症の現状(2020.4.19)

国内11,519人(国内発生:10,807人、クルーズ船:712人、回復退院1,803人)

宮城県内:83人、仙台市内:64人

※厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の現在の状況について(令和2年4月19日時点版参考)」

再掲 仙台市医師会へのご意見

仙台市医師会では会員の皆さまからのご意見に耳を傾け、ご質問等には可能な限りニュース等でお答えしたいと考えております。ご意見・ご質問等はFAX、メールでお願いいたします。

FAX:022-267-5193

メール:sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp

編集長(医政広報部長、福壽岳雄)からのひとこと

行政、大学など総合病院と医師会、密な連携と役割分担がますます重要になってまいります。かかりつけ患者さんと自院を守り、医療崩壊防ぐことが大切です。

疑い例の方が来院時は管轄の保健福祉センター管理課(帰国者・接触者相談センター)へ相談の上、対応してください。

○医療機関からの相談先

- ・青葉区保健福祉センター(管理課) 225-7211
- ・宮城野区保健福祉センター(管理課) 291-2111
- ・若林区保健福祉センター(管理課) 282-1111
- ・太白区保健福祉センター(管理課) 247-1111
- ・泉区保健福祉センター(管理課) 372-3111

(参考)一般市民の方の相談窓口

帰国者・接触者相談センター(コールセンター)

211-3883 (24時間)

日本語のわからない方の対応は・宮城県国際化協会

275-3796 (上記コールセンターとの通訳)

聴覚障害のある方など電話が困難な方

FAX:211-3192

厚生労働省コールセンター

0120-565653(フリーダイヤル) (9時から21時)

各種情報サイト

仙台市ホームページ「新型コロナウイルス感染症について」

<https://www.city.sendai.jp/kikikanri/kinkyu/200131corona.html>

・医療機関の皆様へ

<https://www.city.sendai.jp/kenkoanzen-kansen/jigyosha/fukushi/iryu/kansensho/motozuku/cvmedical.html>

・市民の皆様へ

<https://www.city.sendai.jp/kenkoanzen-kansen/kurashi/kenkotofukushi/kenkoiryu/kansensho/shippebetsu/kansensho/cvsimin.html>

・厚生労働省ホームページ

「新型コロナウイルス感染症について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

「新型コロナウイルスに関する Q&A」(一般の方向け)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryu/dengue_fever_qa_00001.html

「新型コロナウイルスに関する Q&A」(医療機関・検査機関の方向け)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryu/dengue_fever_qa_00004.html

・首相官邸「新型コロナウイルス感染症に備えて」

<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

日本医師会「新型コロナウイルス感染症」

http://www.med.or.jp/doctor/kansen/novel_corona/009082.html

ポスター ・一般的な感染症対策について <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593493.pdf>

・手洗いについて <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593494.pdf>

・咳エチケットについて <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593495.pdf>

新型コロナウイルス感染症 市民向け感染予防ハンドブック 第2版

監修:賀来満夫先生(東北医科薬科大学 医学部 感染症学教室 特任教授)

<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/info/information/2326/>

日本環境感染学会「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド(第2版 改訂版(ver.2.1))

http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/COVID-19_taioguide2.1.pdf

日本プライマリ・ケア連合学会「新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 診療所・病院のプライマリ・ケア

初期診療の手引き」 https://www.primary-care.or.jp/imp_news/pdf/20200311.pdf